

良き思い出を胸に・各小学校卒業式

3月19日（木）20日（金）の2日間にわたり、鶴田管内すべての小学校で卒業式が執り行われ、たくさんの思い出を胸に、卒業生たちが慣れ親しんだ学びやを巣立っていきました。

3月19日（木）に行われた水元中央小学校では、卒業証書が手渡されたあと、卒業生が1人ずつステージで将来の夢を語りました。また、同日行われた菖蒲川小学校では、在校児童が卒業生一人ひとりの思い出を語るなど、各学校で心に残るすばらしい卒業式が行われていました。

すべての学校で、最後の卒業生退場の時には、お世話になった先生方と固く握手を交わし6年間の感謝の気持ちを表していました。



△卒業記念の弥生画・胡桃館小



△最後に先生方と握手を交わす卒業生。（菖蒲川小学校）



3/15PTA連合会母親委員会研修会

3/8文化協会芸能交流会

3/30梅沢地区防犯協会が小学校に青色電灯を設置



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。（☎22-2111 内線263）

鶴田町が全国表彰を受賞

今年1月、鶴田町が全国町村会（山本文男会長）より優良町村として表彰されました。

また、去る2月20日（金）には、青森県町村会定期総会（会場／アップルパレス青森）の席上で表彰状の伝達式が行われました。

この表彰は、昨年全国の町村の中から特に優れた事業や活動を展開している町村に贈られるもので、本県からは鶴田町と東通村の2町村となりました。

今回の表彰は、町民あげての国際交流、朝ごはん運動の取り組みが全国の町村に認められ受賞となりました。

この受賞を糧に、本年度は「早寝早起き朝ごはん」「学力向上の推進」「健診率県ナンバーワン」の3つの柱を掲げ、町民との皆さまとともに町づくりを進めてまいりますので、皆さまのご協力お願いいたします。

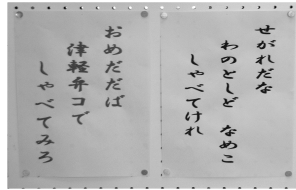


△ひとえに町民皆さまのご協力のたまものです。

津軽弁振り込め詐欺防止標語展示

役場ロビーに鶴田町駐在所連絡協議会（棟方弘己会長）の会員が寄せた「津軽弁振り込め詐欺防止標語」の作品が展示され、一風変わった作品に役場に來られる方々を楽しませています。

鶴田町駐在所協議会では、なかなか減らない振り込め詐欺対策の一環として、親しみのある津軽弁で標語をつくり町民に呼び掛けていこうと、今回の作品展示が行われました。今回の展示は、会員の32作品の中の5作品。役場にお立ち寄りの際は、ぜひ読んでみてください。なお、津軽弁のイントネーションが分からない方は担当の町民生活課長までどうぞ。



△楽しい作品が並んでいます



△みなさん役場にお立ち寄りの際はぜひ標語をご覧ください。



△うつ病が自殺のサインと述べる大山先生

町で自殺予防研修会を開催

3月10日（火）、鶴遊館において、「鶴田町自殺予防研修会」が開催され、青森県立保健大学 教授 大山博史氏を招いての「心の健康と自殺予防」についての講演会が行われました。

講演会には、一般町民、行政推進員、民生委員など200人にのぼる多くの町民が集まり、町民の自殺予防に対する関心の高さが伺われました。

講演会の中で大山先生は、自殺を考える前に必ず何かしらのサインがあること、うつ病が自殺と直結すること、悩んでいる方の話の聞き方などを分かりやすく端的に聴衆に説明されていました。

この研修会を通して、町から自殺者がなくなることを願います。

教材・図書を子どもたちのために

3月27日（金）、鶴田町建設協会（須郷勉会長）の皆さんが町の英語教育と子どもの読書活動に役立ててもらいたいと、英語教材240点と児童図書40巻（約25万円相当）を町に寄贈しました。

町長室で行われた寄贈式には、小笠原教育長と川浪定雄英語教育推進委員長が同席し、須郷勉会長、松山淳副会長、木村公哉理事の3人から中野町長に教材と目録が手渡されました。

贈呈式で、須郷会長は、「不況で建設業界も大変ですが、子どもたちには夢を持ってほしい。町の英語教育に少しでも役立てば」と述べていました。

寄贈された教材は各小学校に配布され、児童図書は公民館に置かれます。



△贈られた教材と児童図書



△町長に教材の目録を渡す須郷会長